

2009年4月9日
博報堂エルダービジネス推進室

HOPEレポートX X VII 団塊夫婦調査①「夫婦はやはり“すれ違い”!?」

団塊夫婦 夫に謝ってほしい妻は4人に1人。

- ・夫にガッカリした経験を持っている妻は約8割
- ・定年を迎えて夫婦のコミュニケーションをふやしたい 夫⇒72.7% 妻⇒63.1%
- ・一生添い遂げたい 夫⇒54.2% 妻⇒40.8%。

やはり「夫婦すれ違い」現象、とくに「夫の片想い」現象は続いている。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しております。このたび、2007年4月から始まった「団塊のリタイア」も、いよいよ3年目を迎え、全国の58～62歳（520名）の調査結果を中心に「**団塊夫婦の関係**」について分析した結果をまとめましたので、ご報告いたします。

調査結果によれば、定年を迎えて、やはり「夫婦すれ違い現象」は続いている、ということがわかりました。

自分のことを考えてくれなかったので謝罪してほしい男性は8.0%しかいないのに対し、女性は26.6%と、「4人に1人は夫に謝ってほしい」と思っています。女性は、夫が自分のことを考えてくれなかったことについて、謝罪してほしい程たまっている、ということが考えられます。一方、相手に謝罪したい男性は29.3%で、夫に謝ってほしい女性の割合（26.6%）を上回ります。男性の側も、今までの言動に対して内心謝ったほうがいい、と思っているようです。

また、「結婚当初に比べ、ガッカリさせられた経験」は、女性が78.9%と8割近くに達し、大多数がガッカリ経験をしているのに対し、男性は61.1%と、4割はそういう経験があまりないとしており、ここでも夫婦のすれ違い現象を表しているようです。

「相手への若いときの気持ち」を持ち続けている割合も、男性は、ほぼ7割は妻への気持ちを持ち続けているが、女性は47.7%と半分以下です。また、持っていない人の内、「もう一度もちたい」という男性は54.2%と熱い気持ちを持っているのに対し、女性は35.3%と、いまさら感があるのか、冷めているようです。

定年を迎えるにあたって「夫婦のコミュニケーションは増やしたい」と思っているのは、女性の63.1%に対し、男性は72.7%と、こちらも夫のほうが増やしたい割合が高く、会社のあと頼るは妻だけと思う男性が多いのではないかと思います。「一生添い遂げたい」も男性は5割を超えますが、女性は40.8%と半分以下。男性は、この妻だけという気持ちが強いが女性はすでにそうでもない「夫の片想い」現象ということもいえそうです。

次ページ以降で、詳細の調査データを紹介いたします。

本件に関するお問い合わせ

博報堂 広報室

エルダービジネス推進室

西尾・黒河

阪本

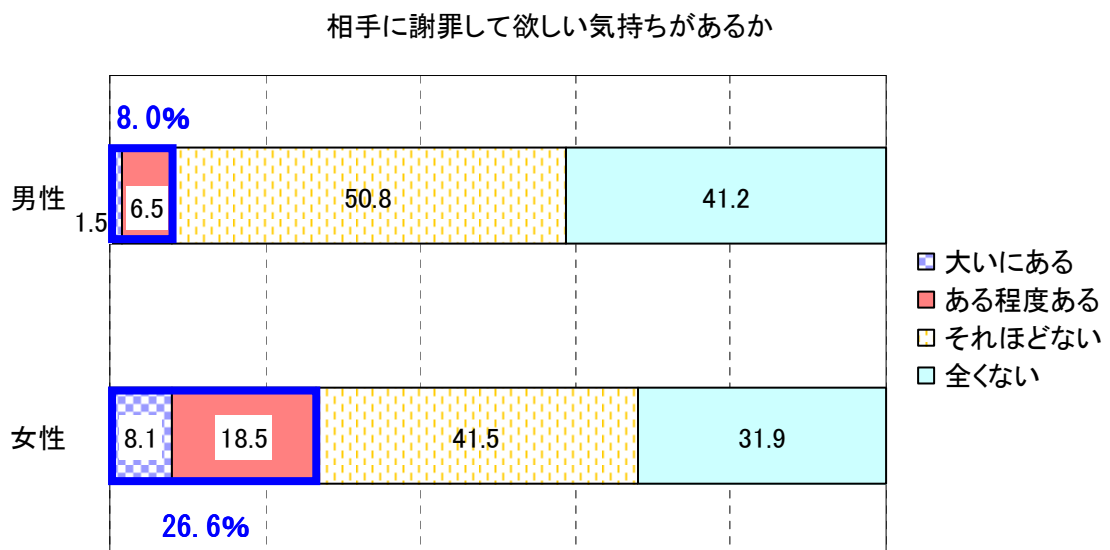
Tel: 03-6441-6161

Tel: 03-6441-4363

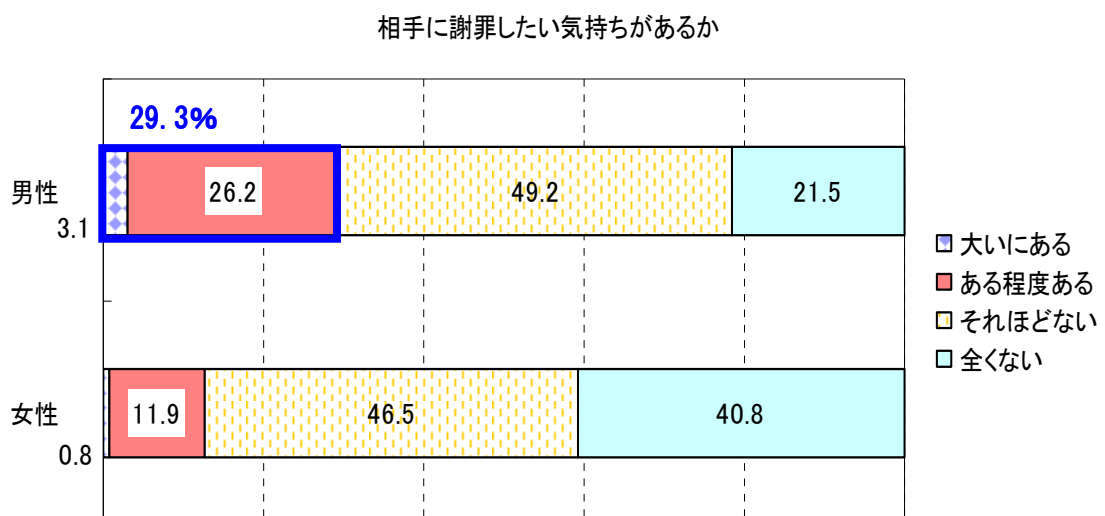
添付資料：調査データ

◇女性は、4人に1人は夫に謝ってほしい、と思っている。謝りたい男性の割合は、謝って欲しい女性の割合を上回る。

相手が自分のことを考えてくれなかったので謝罪して欲しいという男性は8.0%に対し、女性は26.6%と4人に1人が夫に謝ってほしいと思っています。女性は謝罪してほしい程たまっている、ということが考えられます。

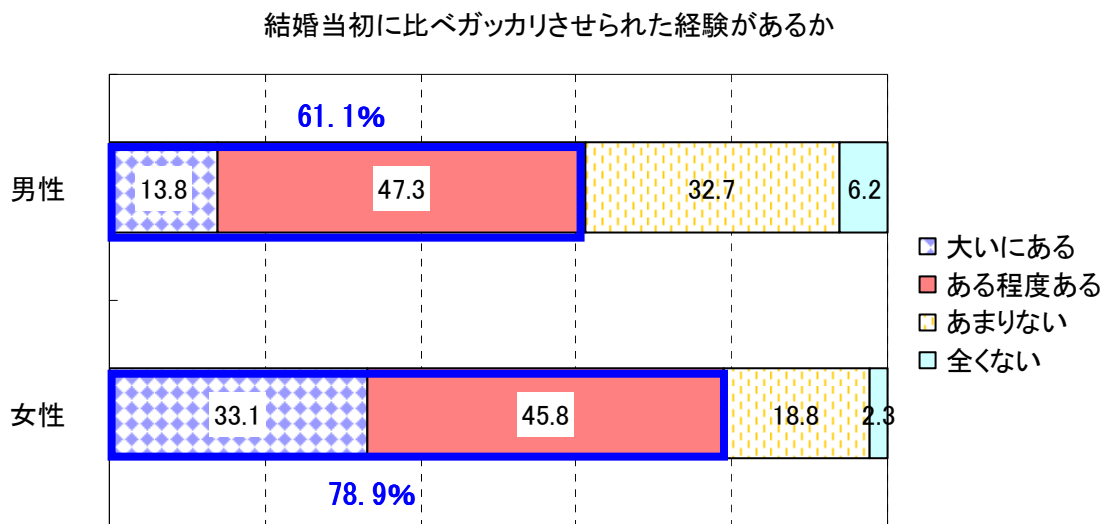


また、相手に謝りたいという男性は29.3%で、謝ってほしい女性の割合（26.6%）を上回ります。男性は妻の気持ちを察知して、内心謝ったほうがいいのではないか、と思っているようです。

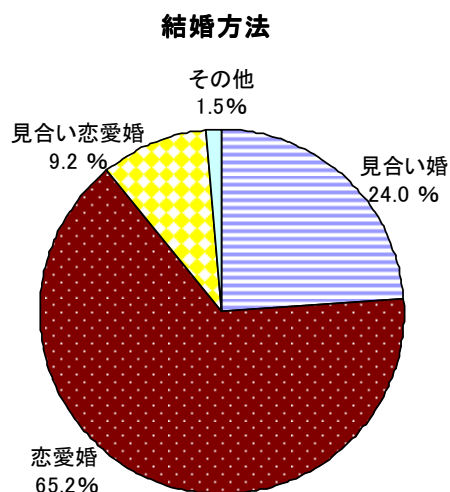


◇ガッカリさせられた経験は女性8割近くに対し、男性は4割がそういう経験なし。

結婚当初に比べ、ガッカリさせられた経験は、女性が78.9%と大多数といえるのに対し、男性は61.1%であり、4割がそういう経験がありません。女性はガッカリ経験を経て、謝罪してほしい気持ちまでたまっていた可能性があるといえそうです。



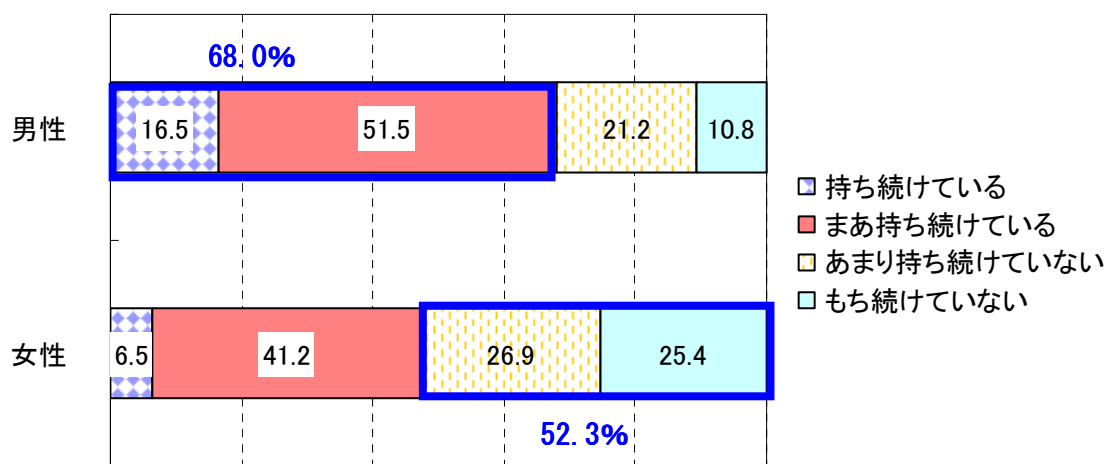
団塊世代は、はじめて、恋愛婚と見合い婚の比率が逆転した世代だといわれます。今回の回答者も65.2%は恋愛婚です。これに、見合い恋愛まで含めると74.4%。もともとお互い好きになって結婚したといえるだけに、「裏切られた」とか、「結婚するまでは自分を大事にしてくれたのに」という思いを持つ女性も少なからずいるといえそうです。



◇相手への若いときの気持ちを持ち続けている男性は7割、女性は半分以下。夫はロマンチストで妻は現実的の傾向がうかがえる。

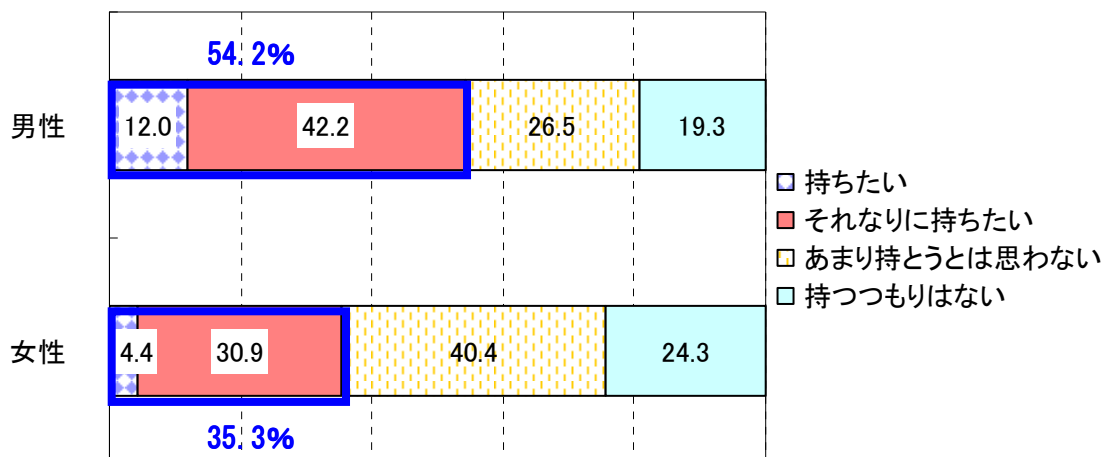
男性の68.0%は妻への若いときの気持ちを持ち続けており、若いときの気持ちを持っていない男性も54.2%がもう一度持ちたいと、熱い気持ちを持っているのに、女性の半分以上（52.3%）が若いときの気持ちを持っていない、としており、もう一度持ちたいと思う人も35.3%と冷めています。女性はガッカリ経験を経て、冷めてしまったのかもしれません。

若いときの気持ちを持ち続けているか



若いときの気持ちをもう一度持ちたいか

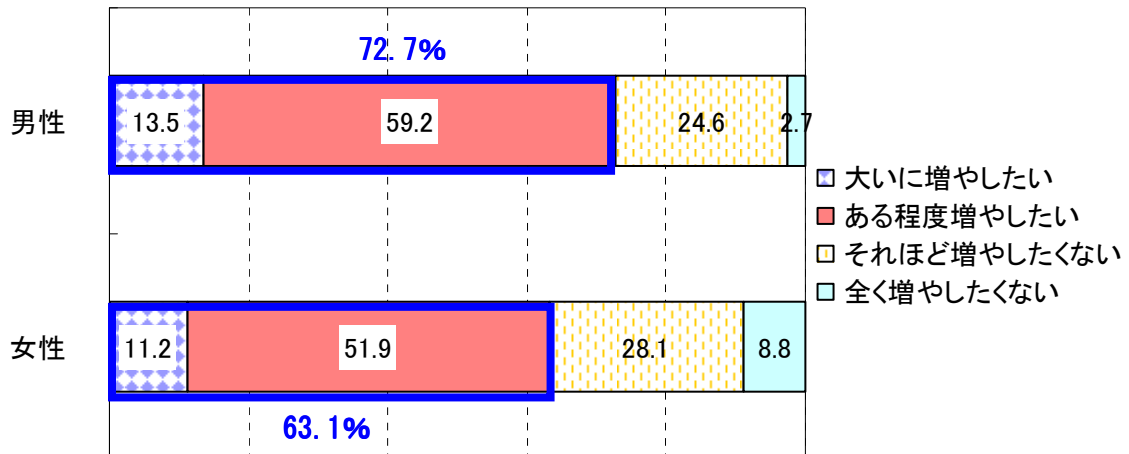
※自分が若いときの気持ちを持っていないと回答した方が回答



◇「夫婦のコミュニケーションを増やしたい」男性は10ポイント近く差があり。「一生添い遂げたい」も男性が5割を超えるが、女性は半分以下。

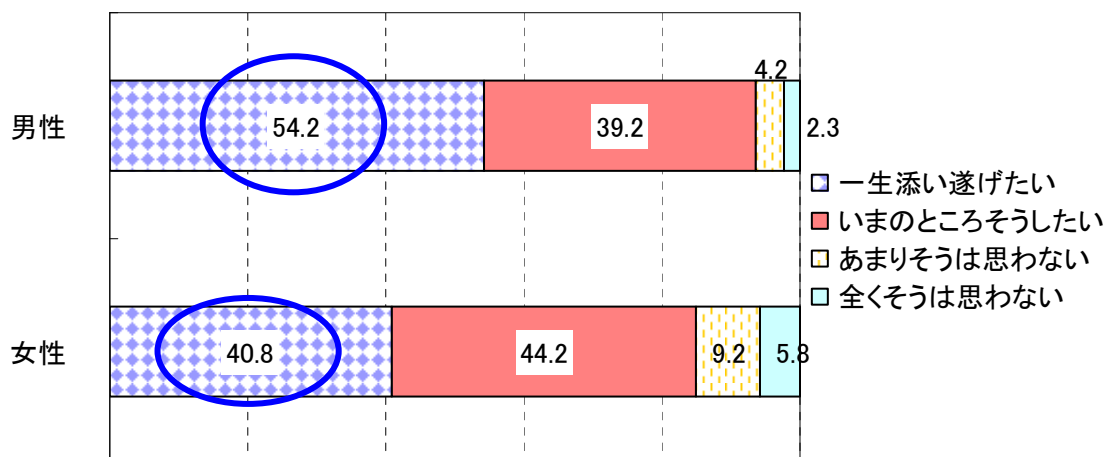
定年を迎えるにあたって「夫婦のコミュニケーションをふやしたい」男性は72.7%、女性63.1%と夫のほうが増やしたい割合が高い。会社のあと頼るは妻だけと思う男性は、そろそろ夫婦の会話もふやした方がいいと思っている度合いが高いようです。

定年を迎えるにあたって夫婦間のコミュニケーションを増やしたいと思うか



「相手と一生添い遂げたい」も、男性は54.2%と5割を超えますが、女性は40.8%と半分以下。男性は、この妻だけという気持ち強いようですが、女性はそうでもないようです。

相手と一生添い遂げたいか



調査概要

調査時期：2009年3月

調査地域：全国

調査対象：団塊世代（58才～62才）男性260名、女性260名 計520名

調査方法：インターネット調査

ご参考

■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定

導入期 50～64歳

本格期（高齢者） 65歳以上

前期高齢者 65～74歳

後期高齢者 75歳以上

■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPEレポートⅠ ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPEレポートⅡ 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPEレポートⅢ 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPEレポートⅣ 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPEレポートⅤ 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPEレポートⅥ つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPEレポートⅦ 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPEレポートⅧ 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPEレポートⅨ 「HOPEサーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPEレポートⅩ 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPEレポート増刊「『新しい大人文化』創造のヒント『開け ひま』」 (2003年10月・既報)
12. HOPEレポートⅩⅠ 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPEレポートⅩⅡ 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPEレポートⅩⅢ 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPEレポートⅩⅣ 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPEレポートⅩⅤ 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPEレポートⅩⅥ 「団塊世代のエンタテインメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPEレポートⅩⅦ 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPEレポートⅩⅧ 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPEレポートⅩⅨ 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (2005年10月・既報)
21. HOPEレポートⅩⅩ 「団塊男性～定年後に目指す男のロマン実態調査」 (2006年5月・既報)
22. HOPEレポートⅩⅩⅠ 「HOPEサーベイ 団塊世代 人生60年の棚卸し」 (2006年12月・既報)
23. HOPEレポートⅩⅩⅡ 「団塊世代 60歳以降の人生設計」 (2007年2月・既報)
24. HOPEレポートⅩⅩⅢ 「団塊リタイア調査①退職金の使い方」 (2007年4月・既報)
25. HOPEレポートⅩⅩⅣ 「団塊リタイア調査②今後の生活と暮らし方」 (2007年6月・既報)
26. HOPEレポートⅩⅩⅤ 「団塊夫婦の関係」 (2007年7月・既報)
27. HOPEレポートⅩⅩⅥ 「絶滅！？する中高年」 (2009年2月・既報)
28. HOPEレポートⅩⅩⅦ 「団塊夫婦調査①夫婦はやはり“すれ違い”!? (今回)

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)